

多摩川流域のサクラの現況調査

平成 19 年度報告書

美しい多摩川フォーラム

平成 20 年 2 月

1. はじめに

多摩地域全体の将来の姿を見据えた地域づくりに取り組むため、平成 19 年に設立された「美しい多摩川フォーラム」では、夢のシンボルプランのひとつとして、「多摩川夢の桜街道」プランを計画している。この計画をすすめるうえで、現在の多摩川流域におけるサクラの現状を把握する必要がある。そこで、現在観光資源となっているサクラだけではなく、将来的に観光資源となりうるサクラを含めて現況を調査することとした。

調査は平成 19 年度から平成 21 年度まで行われる予定となっている。平成 19 年度は予備調査として、フォーラム会員となっている各市町村に対してアンケート調査をおこなった。そこで本報告書では、このアンケート調査の結果とともに、多摩川流域の野生のサクラの特徴について報告する。

なお、本調査は、美しい多摩川フォーラムの委託を受け、独立行政法人森林総合研究所多摩森林科学園教育的資源研究グループ岩本宏二郎主任研究員および同森林総合研究所森林バイオセンター森林バイオ第 2 研究室勝木俊雄研究員がおこなった。

2. 各自治体に対するアンケート調査

2-1. 調査方法

調査は対象となるフォーラム会員となっている東京都と山梨県の計 19 市町村に対して、アンケートを送付し、各市町村の担当者より自治体が把握しているサクラについての回答を得た。アンケートには、記入者、サクラがある対象地区・施設、サクラの状態、利用状況などについて、簡単な項目を記入してもらった(資料-1)。また、対象地の位置についてはフリーウェアの簡易 GIS ソフト(カシミール; <http://www.kashmir3d.com/>)を用いて緯度経度と標高を求めた。このアンケートによって、各市町村が認識している「サクラの名所」の現状について、位置・所有者・サクラの種類・本数・由来・樹齢・管理状況・利用状況などの簡単な分析を試みた。

2-2. 調査結果

各市町村にアンケートの協力をお願いした結果、東京都の 17 市区町と山梨県の 2 村から合計 67 件の調査票の回答があった(表-1)。なお、一部の調査票は、別形式の調査票から読み取った。ただし山梨県丹波山村は推薦するサクラの名所はないという回答であった。

位置

回答された 67 件は、小菅村と奥多摩町の 3 ヶ所以外はいずれも中・下流域に集中していた（図－1）。この 3 ヶ所及び八王子市 1 ヶ所（高尾山一丁平：標高 330m）とあきる野市 1 件（光巖寺：標高 260m）を除いた 61 ヶ所は、いずれも標高は 250m 以下であり、中・下流域の丘陵あるいは段丘・低地であった。つまり、多摩川流域では、流域の山間部ではなく、都市部に「サクラの名所」が集中していることが大きな特徴と考えられた。

所有者・管理者

所有者に関して回答があった 58 件のうち、49 件が自治体、あるいは自治体および個人などの複数者の所有となっていた。それ以外 9 件は個人や法人、寺社の所有となっていた。個人の所有は川井家のシダレザクラ（多摩市）、法人の所有はコニカミノルタ工場桜並木（日野市）と大学通り緑地帯（国立市）、森林総合研究所多摩森林科学園（八王子市）、寺社の所有は円通寺（八王子市）と広園寺（八王子市）、浄福寺（八王子市）、高楽寺（八王子市）、光巖寺（あきる野市）であった。

管理者に関して回答があった 49 件中 43 件は、自治体あるいは自治体が関与している公園などの組織が管理をしていた。自治体が管理している中には、大学通り緑地帯（国立市）や川井家のシダレザクラ（多摩市）のように、所有者は自治体以外である事例も見られた。また、残りの 6 件は、所有者である個人や法人、寺院などが直接管理していた。なお、樹勢が弱った木の手当などの一部管理を市民団体がおこなっている事例もあった（国立市・大学通り緑地帯）。

サクラの種類

サクラの種類に関して回答があった 59 件中、およそ半数の 27 件は‘染井吉野’が単独となっており、‘染井吉野’と他の種類が混在している 25 件を合わせると、約 9 割の 52 件は‘染井吉野’であった。‘染井吉野’以外では‘枝垂桜’（八王子市・浄福寺、高楽寺、円通寺、多摩市・川井家のシダレザクラ）とヤマザクラ（あきる野市・光巖寺）、オオシマザクラ（日野市・多摩川日野橋南詰桜並木、黒川清流公園）の 8 件であった。‘染井吉野’と混在していたサクラとしては、ハリウツの桜（調布市）の‘大寒桜’、府中さくらの広場（府中市）の‘河津桜’、桜つつみ公園（羽村市）の‘春めき’などがあった。これらはいずれも‘染井吉野’よりも早く咲くことが特徴である。このほか、馬込桜並木（大田区）やさくら通り（国立市）、

表－1. アンケートをおこなった市町村と回答があった調査票数.

都県	市町村	調査票数
東京都	昭島市	2
	あきる野市	5
	稲城市	2
	青梅市	1
	大田区	7
	奥多摩町	1
	国立市	2
	狛江市	2
	立川市	2
	多摩市	4
	調布市	6
	八王子市	10
	羽村市	4
	日野市	9
府中市	7	
福生市	1	
山梨県	小菅村	2
	丹波山村	0
合計		67

森林総合研究所多摩森林科学園（八王子市）では八重咲きの栽培品種があった。ただし、不明あるいは未記入が 8 件あったことが示すように、回答者によってサクラの種類への認識の違いが見られ、明らかな誤解も見られた。今後の調査によっては‘染井吉野’以外の種類も数多く確認されることが予想される。

サクラの本数

サクラの本数については 1 本から 10、000 本まで大きな幅があった。今回回答があった 48 件のうち、最大の 10、000 本は奥多摩湖の桜（奥多摩町）であり、都立滝山公園（八王子市）の 5、000 本、森林総合研究所多摩森林科学園（八王子市）の 1、600 本、本門寺公園及び池上本門寺周辺（大田区）の 1、500 本、三ツ子山（小菅村）の 1、000 本、都立小峰公園（あきる野市）の 1、000 本の順であった。100 本以上 1、000 本未満が 23 件、2 本以上 100 本未満が 17 件あった。サクラが 1 本であった光巖寺（あきる野市）と川井家のシダレザクラ（多摩市）のサクラはそれぞれ東京都と多摩市の天然記念物に指定されている。

サクラの由来

サクラの由来について回答があった 34 件中 31 件は、堤防や公園などの整備や記念樹として植栽されたサクラであった。例えば大学通り緑地帯（国立市）は 1933 年の皇太子誕生を記念した植樹であり、ガス橋緑地付近（大田区）は 1952 年にサンフランシスコ講和条約締結を記念した植樹であった。また、立川公園（立川市）や桜つつみ公園（羽村市）のように河川の堤防改修の際に植栽された場合や、多磨霊園南参道（府中市）のように道路整備にあわせて植栽された場合も見られた。

近年の植栽以外では、民家や寺院で古くから管理されてきたサクラ（多摩市・川井家のシダレザクラ）や雑木林の自生のサクラ（日野市・京王平山緑地、日野市・黒川清流公園）も 3 件と少数ながら報告された。

サクラのサイズ・樹齢

樹齢について回答があった 35 件の中で 29 件は、戦後（1945 年）に植えられたサクラであった。戦前に植えられたサクラとしては、1912 年から植栽された羽村堰と玉川上水（羽村市）と 1933 年の大学通り緑地帯（国立市）、1935 年の立川公園（立川市）があった。また、古くから管理されてきた川井家のシダレザクラ（多摩市）は樹齢 300 年以上、光巖寺（あきる野市）は約 400 年と推定されている。

このように、多くのサクラは戦後に植栽されたものであるため、胸高直径が 100cm を超える「巨樹」クラスの個体は、少なかった。今回回答があった 38 件中、光巖寺（あきる野市）が幹周 533cm（直径 170cm）、川井家のシダレザクラ（多摩市）

が 345cm（直径 110cm）、多摩川台公園（大田区）が 120cm と 3 件が 100cm を超えていた。

管理状況

管理状況について回答があった 41 件のうち、剪定をおこなっている所が 23 件、下草刈りをおこなっている所が 13 件、防虫剤散布をおこなっている所が 14 件あった。それ以外では施肥（小菅村・小菅国道 139 号沿線）や樹木医の診察（多摩市・川井家のシダレザクラ）、市民団体による木の手当（国立市・大学通り緑地帯）などがあった。また回答に「良好」としか書かれておらず、具体的な管理状況がわからなかったものが 4 件あった。回答が無かった 26 件の中には、決まった管理がなされておらず放置されている場合もあると思われる。

利用状況

利用状況について回答があった 56 件中、55 件が一般利用者に公開されていた。このうち 2 件については入場料が必要であった（羽村市・羽村市動物公園、八王子市・森林総合研究所多摩森林科学園）。森林総合研究所多摩森林科学園では 4 月には入園料が大人 400 円小人 150 円となる（通常期は大人 300 円小人 50 円）。また昭島公園（昭島市）では、通常期は一般公開されていない有料施設内を桜の花のシーズンのみ無料で公開としていた。同様に、非公開となっている日野自動車羽村工場（羽村市）は法人所有で非公開だが、サクラの花の季節には一般に公開されている。

近くに駐車場がある所は 18 件で、駐車場が無い所は 33 件だった。駐車場の無い所はいずれも、最寄りの電車やバス等の公共交通機関から徒歩 30 分以内と車以外の方法でアクセスが可能とされていた。

なお、日野自動車羽村工場（羽村市）、羽村堰と玉川上水（羽村市）、都立滝山公園（八王子市）、馬込桜並木（大田区）ではサクラの開花期に「さくらまつり」に類似するイベントが開催されている。

3. 多摩川流域の野生のサクラ

文献の情報によると、多摩川流域には以下の 7 種のサクラが自生していると考えられる（図-2）。ヤマザクラ (*Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H.Ohba)、カスミザクラ (*C. verecunda* (Koidz.) H.Ohba)、オオヤマザクラ (*C. sargentii* (Rehder) H.Ohba)、チョウジザクラ (*C. apetala* (Siebold & Zucc.) H.Ohba var. *apetala*)、マメザクラ (*C. incisa* (Thunb. ex Murray) Loisel. var. *incisa*)、タカネザクラ (*C. nipponica* (Matsum.) H.Ohba var. *nipponica*)、エドヒガン (*C. spachiana* (Lavallée ex H.Otto) H.Otto)、ミヤマザクラ (*C. maximowiczii* (Rupr.)

Kom.)の 8 種である。マメザクラについては変種のブコウマメザクラ (*C. incisa* (Thunb. ex Murray) Loisel. var. *bukosanensis* (Honda) H.Ohba)も分布している可能性がある。

したがって、多摩川流域のサクラは、本州に分布するサクラのうち、オオシマザクラ (*C. speciosa* (Koidz.) H.Ohba)を除く 8 種がすべて分布していると考えられることが大きな特徴である。

なお、サクラ類は種間雑種が多く形成されることが特徴であり、多摩川流域ではエドヒガンとマメザクラの種間雑種と考えられるヤブザクラ (*C. hisauchiana* (Koidz. ex Hisauti) H.Ohba)やホシザクラが分布していることも大きな特徴である。そのほか、ヤマザクラとカスミザクラ、ヤマザクラとマメザクラ、ヤマザクラとエドヒガン、ヤマザクラとチョウジザクラ、チョウジザクラとマメザクラなどの種間雑種も観察されている。

しかし、こうしたサクラ類が多摩川流域に現在どのように分布しているかは明らかでない。平成 20 年度以降の現地調査によって、これらの詳細な分布地を確認する予定となっている。

4. まとめ

アンケート調査を基にして、多摩川流域のサクラについておおまかな概要を把握することが出来た。多摩川流域において、自治体が認識している「サクラの名所」の大部分は、戦後に植栽された‘染井吉野’であり、公園や道路・河川の堤など自治体が管理する場所に多いことが示された。一方、古木・巨木と考えられるようなサクラは川井家のシダレザクラ（多摩市）や光巖寺（あきる野市）などに見られるものの、数が少なかった。

しかしこうした調査結果は、一部の市町村へのアンケートによるもので、多摩川流域全体が対象とされていなかった。また、市町村の担当部署に回答していただいたが、それだけですべてを把握することは難しかった。特に野生のサクラについてはほとんど情報を得ることが出来なかった。今後は、得られた「サクラの名所」の管理状況などの状態を現地調査などによって明らかにするとともに、上記の不備であった部分についてさらに詳しく調査していく必要があると考えられる。

資料－1 サクラ現況調査 調査票

1) 記入者

1-1.氏名：	1-2.所属：
1-3.連絡先住所：〒	
1-4.連絡先電話： — —	1-5.記入日： 年 月 日

2) 対象地区・施設

2-1.名称：	
2-2.所在地：	
2-3.所有者名：	2-4.所有者電話： — —
2-5.所有者連絡先住所：〒	
2-6.管理者名：	2-7.管理者電話： — —
2-8.管理者連絡先住所：〒	

3) サクラ

3-1.種類：		
3-2.本数：	3-3.直径：	3-4.樹齢：
3-5.由来：		
3-6.管理状況：		
3-7.その他：		

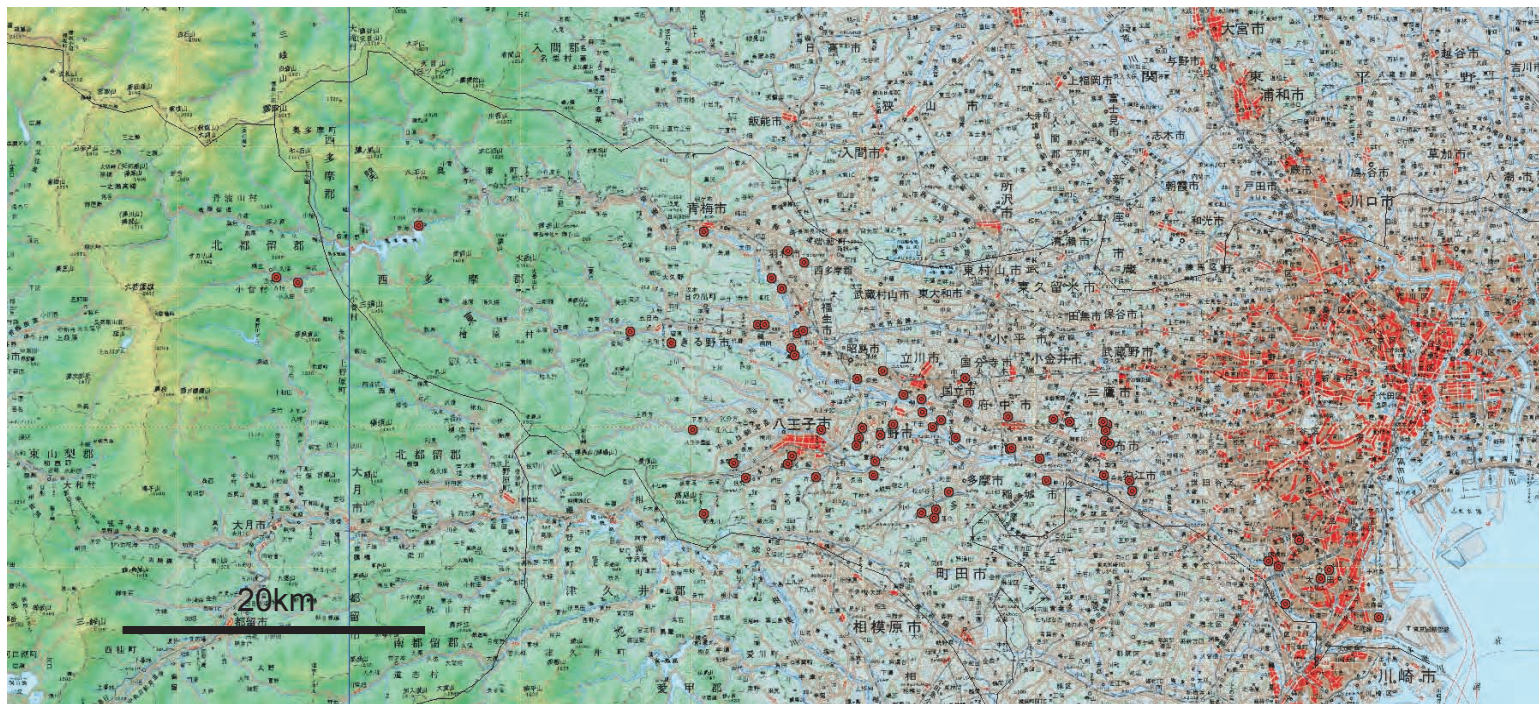
4) 利用状況

4-1.一般利用者：公開・非公開	4-2.利用料：なし・あり（ 円）	4-3.駐車場：なし・あり
4-4.アクセス：最寄り駅 線 駅・バス 分・徒歩 分		
4-5.その他：		

表-1. 回答があったサクラの所在地

番号	所在地	名称
1	昭島市	昭島公園
2	昭島市	多摩川左岸堤防
3	あきる野市	あきる野総合グラウンド
4	あきる野市	都立秋留台公園
5	あきる野市	都立小峰公園
6	あきる野市	二宮公民館周辺
7	あきる野市	光巖寺
8	稲城市	稲城多摩川桜堤
9	稲城市	三沢川側道
10	青梅市	青梅市釜の淵公園
11	大田区	ガス橋緑地付近
12	大田区	桜坂
13	大田区	洗足池公園
14	大田区	多摩川台公園
15	大田区	東糞谷第一公園
16	大田区	本門寺公園及び池上本門寺周辺
17	大田区	馬込桜並木
18	奥多摩町	奥多摩湖の桜
19	国立市	さくら通り
20	国立市	大学通り緑地帯
21	狛江市	西河原公園
22	狛江市	根川さくら通り
23	立川市	柴西公園
24	立川市	立川公園
25	多摩市	川井家のシダレザクラ
26	多摩市	多摩中央公園
27	多摩市	富士見通り
28	多摩市	乞田川沿い
29	調布市	榎橋周辺
30	調布市	神代植物公園通り
31	調布市	桜堤通りの桜
32	調布市	深大寺通り
33	調布市	都立神代植物公園
34	調布市	ハリウッドの桜
35	八王子市	浅川の桜並木
36	八王子市	円通寺
37	八王子市	片倉城跡公園
38	八王子市	浄福寺
39	八王子市	森林総合研究所多摩森林科学園
40	八王子市	高楽寺
41	八王子市	都立滝山公園
42	八王子市	広園寺
43	八王子市	富士森公園
44	八王子市	高尾山一丁平
45	羽村市	桜つつみ公園
46	羽村市	羽村堰と玉川上水
47	羽村市	日野自動車羽村工場
48	羽村市	羽村市動物公園
49	日野市	旭が丘グリーンベルト
50	日野市	旭が丘中央公園
51	日野市	黒川清流公園
52	日野市	京王平山緑地
53	日野市	コニカミノルタ工場桜並木
54	日野市	多摩川日野橋南詰桜並木
55	日野市	根川沿いの桜
56	日野市	日野中央公園～日野市役所
57	日野市	平山堤桜並木
58	府中市	桜通り
59	府中市	スタジアム通り外4路線
60	府中市	多摩川通り
61	府中市	多磨霊園南参道
62	府中市	堤政緑地
63	府中市	府中さくらの広場
64	府中市	四谷さくら公園
65	福生市	多摩川堤防沿い桜
66	小菅村	小菅国道139号沿線
67	小菅村	三ツ子山

N35°55'



N35°30'
E138°45'

E139°52' 30"

図一 1. 2007 年度の調査による多摩川流域のサクラの“名所”

N35°55'



N35°30'
E138°45'

E139°52' 30"

図一 2. 想定される多摩川流域の野生のサクラの分布